

日経
NIKKEI
CONSTRUCTION

CONSTRUCTION

11
2022

▶特集

もう止まらない 建設M&A

▶特集

さらば! 残コン

▶ファーストニュース

難航する水道管の更新事業



○TPD工法

登録番号：KK-220026-A

加圧・減圧による無機接着系あと施工アンカー工法

本技術は、粘性度の高い無機接着系グラウト材注入に適した工法であり、加圧・減圧を行うことによりアンカー筋が挿入されたアンカー孔の内部に無機接

着系グラウト材を効率的に注入することができる。技術の活用により、速やかに鋼製ブラケットの製作工程(約1.5カ月程度早く)に進むことが可能であり、施工性の向上や無機接着系グラウト材のロス率低減による環境への影響抑制が期待できる。

【開発目標】無機接着系グラウト材を効率的に注入する、あと施工アンカー工法の開発。

【活用の効果】●施工精度アップによる工程の短縮
●シールによる固定で材

料ロスの軽減と環境抑制効果作業効率アップによる労務費の軽減。

【特徴】●型板版による施工精度および作業効率がアップ ●上向き注入における漏れによるロス率低減で環境への影響抑制が期待できる。

【施工実績】NEXCO西日本：2件。

【留意事項】本技術の原理、施工方法に関して：特許第7107612号・実用新案第3236489号取得済み。

お問い合わせ

株式会社友仁工業
技術部

〒596-0003 大阪府岸和田市中井町1-18-14
TEL. 072-448-5277 FAX. 072-448-5377
URL <https://www.tomoni.jp>
E-mail adachi-m@tomoni.jp



注入の状況

○TVI工法

登録番号：KK-210038-A

PCグラウト充填不足部に、再注入し補修する工法

本技術は、PCグラウト充填不足部に、小口径削孔を行い高強度グラウトを再注入し補修する工法である。

【開発目標】●機材費および材料費が安価となるため(コスト削減、生産性の向上) ●施工性の向上(注入ロセット改造、機械小型軽量化) ●省資源・省エネルギー。

【活用の効果】在来技術に比べ本再注入工法は、経済性：34.96%、工期短縮：33.33%に向上する。

【特徴】●削孔径がφ30mmと小さく、桁への損傷が軽微で済むほか、コンクリートの発生量が在来工法より少なくなる

●充填不足確認の調査孔を併用可能である ●小口径のため、先行設置が可能で工程を短縮できる ●機械の小型軽量化による施工性向上にて、機械経費、労務費軽減による経済性の向上 ●材料費が安価(高強度グラウト)のため経済性が向上する。

【施工実績】民間鉄道会社：2件。

お問い合わせ

株式会社友仁工業
技術部

〒596-0003 大阪府岸和田市中井町1-18-14
TEL. 072-448-5277 FAX. 072-448-5377
URL <https://www.tomoni.jp>
E-mail nakamae-h@tomoni.jp



再注入の状況